

# 公立保育者を目指す学生のキャリア支援

明星大学教育学部教育学科 特任教授 山下 晶子  
明星大学教育学部教育学科 特任教授 井上 宏子

## Student's carrier support aiming at a public early childhood educators

抄録

保育者を目指す学生の進路として、自治体の公立保育士や公立幼稚園教諭を目指す学生がここ3年を見ると、年々増加してきている。採用試験、就職試験合格へ向けて学生の夢の実現の支援(指導)を通し、学生自身の目指す保育者として、また保育者になるにあたり、学生の意識の変化や成長がみられたことでこの支援の有効性が見えた。

キーワード：公立保育者 キャリア支援 支援の有効性

### 1 はじめに

保育者を目指す学生の進路は、その進路選択として、保育所実習、施設実習、幼稚園実習後に最初の選択肢がある。次に公立(自治体)か私立(民間・企業)かの選択肢である。その中で、ここ3年間、学生の就職相談を受けてきた中で、公立(自治体)、地元志向も含め地方公務員保育者を目指す学生が年々増加している。

昨今、東京23区、神奈川県政令指定都市の横浜市、川崎市は、保育施策の中でも、待機児解消の取り組みの一環と保育所、幼稚園の施設の老朽化、財政問題としての人件費等を鑑み公立保育所、公立幼稚園の民営化や統廃合、廃園と年度計画において計画的に進められている状況がある。職場の減少に伴い募集人数の不透明な状況があったり、若干名であったりと、またその年度により募集をしないこと等もある。地方の市町村においても、1名や2名の募集であるということもあり、採用に関しては厳しい現状と捉えることができる。全国的にも合格倍率が2倍を下回る自治体はほとんどなく、逆に合格倍率が10倍を超える自治体もある(東京都調布市93倍(平成29年度))。狭き門である保育の現場において、特に保育士不足の売り手市場と言われる昨今の就職戦線であるにもかかわらず、公務員保育者の希望がある。

就職への意識として取得した資格を活かして安定した就職に結びつけ、長く働きたいという雇用の安定、待遇面等に意識をする学生が増えてきたのではないかと考える。

### 2 公立保育者を目指す学生の採用試験、就職試験対策支援

#### (1) 実務経験から情報提供、相談、支援(学生の志望動機に寄り添う)

元公立保育園長・元公立幼稚園長、元東京都児童相談所長経験の特任の教員のもとに、2年次より公立保育者を目指したいと相談に来る学生がいる。相談内容としては、親の職の関連から、両親のどちらかが公務員であることで、「就職は公立に。」という親の希望もあり、公立を考えていると言う学生。地元に戻り就職を考えているが、地元は公立のみであるので、公立を考えている。また、自身が公立保育園の出身

であり、思い出深く「あの先生のような先生になりたい。」などの内容で相談を受けるが、しかし、まだ、自分自身の選択が固まっていなく漠然とした選択であるようにも取れる相談である。次の3年生になると、インターンシップの職場体験、保育所実習、施設実習等を終え比較的目指す方向、進路選択が少しずつ明確になってきている相談内容になっている。また、専門性を活かし働き続けられる職場環境が公立保育士・公立幼稚園教諭なので、目指したいという選択をして自分なりの情報収集を一応行っている。段階として一段階上がり、採用試験対策や職場への不安等のことで相談を受ける。それらの相談に対して、現場経験のある特任の教員3名が主に相談を受けるが、職場環境の魅力、働き続けられる環境であること、保育の専門性を活かせる職場や活躍できることがある。また、その自治体の市町村の保育施策のことなどを知ることができるなどを伝える。そして保育者として広い視野に立てることなどを伝える。また、保育職として仕事に向かう姿勢、何のために働くのか、どんな働き方をしたいのか等のやり取りをしていく中で、学生自身が自身を見つめて、改めて自分の良さを発見する機会「自己成長」となっていた。教員も学生一人ひとりのモチベーションをあげる機会となり、採用試験対策、キャリア支援を通しながら一人ひとりの成長を見ることができた。採用試験対策ではあるが、学生からこれまでの学びの集大成となっていることやこれから社会で働く上での生きる力の原動力となっているのではないかと実感した。

## (2) 教職センターとの連携

年間を通し、公立保育者をめざす学生一人ひとりの相談に応じた対応は、教職センターとの連携がなくてはならないことであった。

教職センターの特に担当者2名との連携は必要不可欠であった。

各自治体の試験内容の情報収集、学生の情報収集の方法、試験対策法、教養試験、専門試験、論文試験、面接試験等の細かな内容、テキスト選択に関すること等、教職センター職員のアドバイスが対策として大事なポイントであった。更に、教養試験の出題内容や面接試験の情報共有をしたことで学生一人ひとりの対策ができた。また、教職センターによる東京アカデミー予備校の公立保育者講座が3年前より開設となり継続して開講している。この講座を1、2年次より受講でき、更に3年次、4年次と本格的に講座受講できる。学生は、並行して教員の指導と教職センター担当者から支援を受けることができた。これらの対策においても教職センター担当者との連携ができたことが、公立保育者をめざす学生の受験率、合格率のアップにも繋がったといえる。

## (3) 教員間の連携、協力体制

子ども臨床コースの公立保育者をめざす学生について1、2年生の学生を含め、特に3年生になり、保育所、施設実習後、相談を受けることが多くなる。教員間でも把握し、希望に沿い、幼稚園、保育所、さらには小学校を目指す学生がいる。現場経験実務者の特任の教員でそれぞれの学生の相談に合わせ、主に特任ではあったが子ども臨床コースの教員間で連携し対応をした。また、3、4年生の公立保育者をめざす学生の論作文の添削指導、面接指導を主に行ってきた。公立保育者をめざす学生の添削指導においては、複数の目で指導をすることもあったが、基本は、公立保育園を目指す学生は、元公立保育園長が主に指導を行う。公立幼稚園を目指す学生は、元公立幼稚園長が主に指導を行うように分担した。

採用試験時まで学生一人ひとりの希望や課題を把握し、状況に応じたきめ細かなサポートに心がけて対応してきたものの限られた時間の中での対応では、教員間の連携が必要であり、学生の状況やスケジュール調整等の伝え合い等を行いながら協力体制をとってきた。更には、モチベーションを保つことなどのサポートを行ってきた。

## (4) 東京アカデミーの対策講座について

2016年度より、教職センターにおいて公立幼保試験対策の取り組みが開始となった。教職センターが

窓口となり教育学科子ども臨床コースの1～3年生で、公立幼稚園、保育園への希望者を対象としたガイダンスを受講し、12月より講座がスタートする。公立保育者をめざす学生に相談と合わせて、ガイダンスと、対策講座を実施してきた。この対策講座は、内容の充実もあり、情報収集方法、学習対策、試験対策等について知ることができ、長期的計画、短期的計画の見通しを持つことができる。教員、教職センター、東京アカデミーとの連携は、学生の目指す夢の実現に向けて東京アカデミー講座は強力的なバックアップとなったと実感している。

〈東京アカデミー対策講座 内容〉

2018年度 公立幼保試験対策講座 主催：明星大学教職センター 協力：(株)東京アカデミー					
講座名称	実施日時	会場	対象学年	内容	申し込み ○印を記入
第1回 模擬試験・解説講義 「初級・公務員チャレンジスタート模試」の受験	2018年12月25日(火) 集 合 9:50 試験説明 10:00～10:10 模擬試験 10:10～11:40 自己採点 11:40～12:00 昼 休 み 12:00～13:00 解説講義 13:00～15:00 事務連絡 15:00～15:10	19-203	1年～3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬試験として、90分間の「教養試験」を受験し、試験レベルを把握する。</li> <li>解説講義として、120分間の「知能科目(数的推理・判断推理・空間把握・資料解釈)」解説を受講し、自分の学習指針を作る。</li> </ul>	
作文対策講座 ※1コマ講座と課題2階の提出と添削返却	2019年2月7日(木) 12:55～14:25 作文対策基調レクチャー	19-203	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立保育士、公立幼稚園教諭採用試験で出題される内容に基づいた「作文の書き方指導講座」及び「添削指導を2回」実施します。</li> <li>課題添削日程は、別紙にてお知らせします。</li> </ul>	
第2回 模擬試験・解説講義 「初級・教養40問型模試」の受験	2019年2月27日(水) 集 合 9:50 試験説明 10:00～10:10 模擬試験 10:10～11:40 自己採点 11:40～12:00 昼 休 み 12:00～13:00 解説講義 13:00～15:00 事務連絡 15:00～15:10	19-203	1年～3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬試験として、90分間の「教養試験」を受験し、試験レベルを把握する。</li> <li>解説講義として、120分間の「知能科目(数的推理・判断推理・空間把握・資料解釈)」解説を受講し、自分の学習指針を作る。</li> </ul>	
面接対策講座 ※2コマ講座 ・本講座は東京都特別区が実施する「幼稚園教諭候補者選考試験」には対応していません。	2019年2月28日(木) 12:55～16:10 面接対策基調レクチャー 面接対策実践	19-203	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立保育士、公立幼稚園教諭採用試験で出題される内容について対策を行います。</li> <li>1コマ目は面接試験の基本的なルール、マナー、よく聞かれる質問とそれに対する答え方などについて講義を行います。2コマ目は模擬実践を行います。</li> </ul>	
リバイバル 公立保育士模擬試験 ※試験時間数 ○教養試験120分 ○専門試験90分 ○作文試験60分	2019年3月18日(月) 集 合 9:50 試験説明 10:00～10:20 教養試験 10:20～12:20 昼 休 み 12:20～13:20 専門試験 13:20～14:50 作文試験 15:05～16:05 事務連絡 16:05～16:15	19-203	1年～3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、3,500人程度が受験する試験です。2018年度実施試験を受験し、これまでの学習の進捗を確認し、自分の学力を客観的に判断することができます。</li> <li>リバイバル模試は、成績分析はありません。自己採点と作文試験は添削を行います。</li> </ul>	
公立保育士模擬試験 ※試験時間数 ○教養試験120分 ○専門試験90分 ○作文試験60分	2019年4月13日(土) 集 合 9:50 試験説明 10:00～10:20 教養試験 10:20～12:20 昼 休 み 12:20～13:20 専門試験 13:20～14:50 作文試験 15:05～16:05 事務連絡 16:05～16:15	未定	4年 (現3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、3,500人程度が受験する試験です。2019年度実施試験を受験します。これまでの学習の進捗を確認し、自分の学力を客観的に判断することができます。</li> <li>成績分析を行いますので、試験対策の指針になります。</li> </ul>	

東京アカデミーの講座内容と並行して、学生は教員より論文指導や面談指導を受ける。講座の面接指導を受けさらに教員の面談指導を受ける。より自分を客観的に見ることを通し、自分の適性や長所と短所を把握できるようアドバイスを受ける。自分の自己理解を深め、受験先が求める人材像に合う効果的な自己

PRができるよう複数回の指導を受ける。そのことを通し、教員としては指導を担当している学生の変化が見られ、変わっていく姿から採用試験対策の指導ではあるもののキャリア支援としての指導の有効性を感じた。

### 3 具体的な対策

#### ① 自治体の採用状況

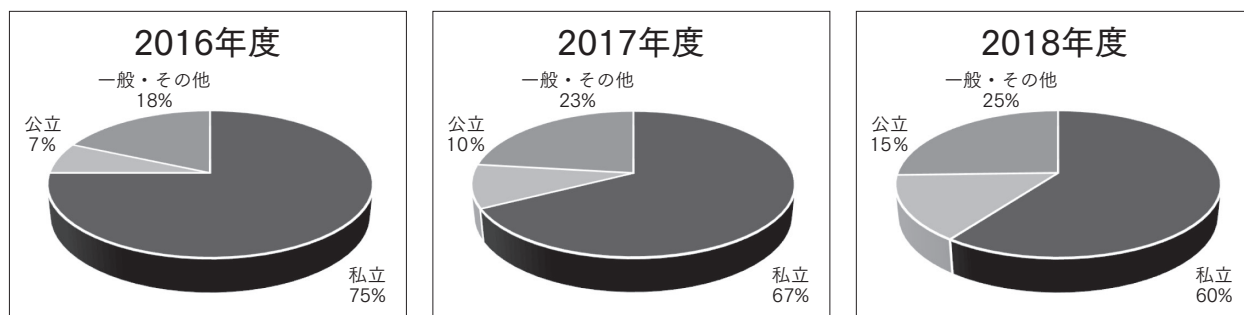
2016年度から2018年度の3年間に、子ども臨床コースの卒業生が合格した公立保育所（幼稚園1名）のある自治体の、採用試験の実施状況は以下のとおりである。

【保育士・幼稚園教諭採用試験実施状況】

自治体	募集職種	資格要件	受験者数			合格者数			合格率			明星大学合格者数		
			2016	2017	2018	2016	2017	2018	2016	2017	2018	2016	2017	2018
前橋市	保	保	36	31	21	10	8	5	3.6	3.9	4.2			1
戸田市	保	幼保	22	13	25	2	3	6	11	4.3	4.2			1
					6			6.0						
千葉市	保	保	279	282	206	76	64	33	3.7	4.4	6.2	1		
品川区	保	保	163	128	128	57	60	60	2.9	2.1	2.1	1		
目黒区	保	保	51	62	42	14	25	10	3.6	2.5	4.2		1	
世田谷区	保	保	286	271	不明	59	85	不明	4.8	3.2				2
杉並区			226	不明	151	66	不明	31	3.4		4.9		1	
府中市	保	保	28	/	/	15	/	/	1.9	/	/	1		
			3			2			1.5					
日野市	事務職	幼保	75	67	68	13	9	9	8.3	7.4	7.6			2
相模原市	保	保	105	84	88	14	21	26	7.5	4	3.4			1
狭山市	保	幼保	30	40	51	10	6	22	3	6.7	2.3		1	
	幼		4	5		1	1		4	5				
上田市	保	保	23	13	15	4	5	4	5.8	2.6	3.8			1
松本市	保	保	79	56	48	13	17	13	6.1	3.3	3.7		1	

（保育士・幼稚園教諭採用試験問題集2020年度版－実務教育出版－）

【公立合格者】



2016年度に公立の保育者を狙いたいという意思表示をした学生に対して、手探りで支援を始めた。公立保育園長、公立幼稚園長、児童相談所長を経験した特任教員がチームで面接指導をしたり、学生を個別に研究室に呼んで論作文指導を行ったりした。グラフからは年を追うごとに公立合格者が増えていることがわかるが、受験及び一次試験合格を含めると、公立の受験を希望する学生も年々増えており、複数の自治体を受験する傾向にある。今年度（2019）はその傾向が顕著になり、5月から10月の採用試験の時期には受験の相談に来る学生が重複するなど、授業の合間を縫って指導するには困難さを感じており、指導体制の工夫をと一考している状況である。

② 論作文指導

論作文指導では、保育者として又は公務員として必要な基礎的な力が備わっているかどうかを見ることを目的であることを踏まえ、独創的な言い回しや奇抜な考えなどではなく、課題が求めているものをしっかり理解し、わかりやすい表現で書くよう伝えている。

また、保育者の論作文試験では、論文と作文の区別は厳密ではないが、本校の学生には論文として書くことを望んでいるため、自分の考えを、客観的な根拠などを示して論理的に述べるよう指導している。

具体的には

○自治体の過去問からテーマを選んで自分なりに1000字程度で書く

⇒添削1：序論・本論・結論(課題にそった考察のまとめや改善策など)の構成になっているか確認する

\* 序論：課題の定義や解釈⇒本論：現状分析や論点を挙げて考えを述べる

\* 序論：課題の背景⇒本論：保育士の役割などを考える

\* 序論：結論の要約⇒本論：なぜそう考えるのか根拠を挙げる

⇒添削2：内容に一貫性があるか確認する

\* 途中で主張が変化していったいないか、序論・本論・結論の内容につながりがあるかなど

\* 課題とは別に、言いたい内容がわかりやすく表現されているか、誤字脱字はないか、標準的な国語力の有無など

⇒添削3：内容を推敲する

\* 与えられた課題を見て、その意味・意図・何が求められているのかを判断しているか

\* 与えられた課題について自分なりの考え方ができているか

\* 保育者として、あるいは公務員として働く意欲が表現されているか

\* 客観的な視点をもって書けているか、極端に攻撃的な記述や一方的な記述はないか

\* 子どもを取り巻く現状に対して、保育者としての認識や視点を持っているか

○他のテーマでも書いてみる

⇒添削4：どのようなテーマでもポイントが同じだということを理解しているか

③ 面接指導

面接には、個別面接、集団面接、集団討論があるが、保育者採用の面接の場合は、一般企業と異なり、自己PRよりも、実際の保育の現場にふさわしい人物であるかどうかを重要であると考え、面接指導を行っている。

保育者は人格形成期の子どもの保育に携わり、子どもの発育に大きな影響を与える存在となるため、学生自身が、子どもにとっては成長過程における重要な環境の一部となることを自覚する必要がある。その上で面接試験は、受験者の「人物」を見る試験だということを踏まえ、主に学生の人柄を緊張せずに出せるような助言を行いながら、仕事に対する意欲や態度を示すことや、保育者としての適正をアピールする表現方法などについて、個別面接を通して指導している。

個別面接	* 3人程度の面接官が面接し、一人10～20分程度
集団面接	* 3人以上の面接官が面接し、1グループ3～8人程度。時間はまちまちだが、概ね15～30分程度 * 質問に順に応える場合と、準備ができた者から挙手して応える場合がある
集団討論	* 受験者同士がグループになって話し合う場면을面接官が観察し評価する * テーマがある場合が多い。時間はまちまちだが概ね30～60分程度

具体的には

○服装・髪型など身だしなみについて話し合う

○面接練習

実際の面接練習は、3人の特任が全員で対応したり、時間が合う者が対応したりするが、学生には予めQ&Aを作っておくように伝えておく。

⇒面接室でのマナーと姿勢

- \* 面接室への入室・着席までの流れ(ノック、入室、お辞儀、カバンの始末、挨拶、着席)
- \* お辞儀の姿勢、座る姿勢
- \* 面接終了から退室までの流れ(お礼、お辞儀、挨拶、退室)

⇒面接中の態度及び言葉づかい

- \* 質問者の目を見ながら落ち着いて受け答えするように心がける
- \* 謙遜し過ぎない
- \* 質問の意図がわからない時は聞き返して確かめる
- \* わからない内容に対して知ったかぶりせず、誠実な態度で応える
- \* 使役表現を避ける
- \* 歯切れよく話す
- \* 尊敬語や丁寧語、謙譲語を使い分けて話す

⇒評価の観点

- \* 志望動機や意欲が伝わるか
- \* 誠実さ、前向きな態度、積極性がみられるか
- \* コミュニケーション能力があるか
- \* 人間関係でつまづかないか、協調性があるか
- \* 継続性、粘り強さがあるように感じられるか
- \* 子どもに対して受容性や感受性、共感性があると推測されるか
- \* 専門領域に関する認識の確かさと応用力が感じられるか

【保育士・幼稚園教諭の論作文・面接試験】—卒業生が合格した年度の内容—

年度	自治体	論作文	面接
2016	千葉市	二次：信頼関係を築くために、子どもと接するうえであなたが一番大切だと思うことは何か800字程度60分	二次
	品川区	一次：独自800～1000字程度80分	二次
	府中市	一次：45分	二次：個別20分
2017	目黒区	一次：独自1000字程度60分	二次：個別
	杉並区		
	狭山市	なし	二次：集団(志望動機、性格、一般知識、専門知識) 三次：個別
	松本市	三次：独自	一次：個別(志望動機、性格)10分 三次：個別10分
2018	前橋市	なし	二次：集団 三次：個別
	戸田市		
	世田谷区	一次：独自800字程度70分	二次：個別20分
	日野市	なし	三次：個別20分 四次：集団25分
	相模原市	なし	一次：集団 二次：個別
	上田市	一次：上田市の保育士としてあなたが果たす役割について800字程度60分	二次：個別15分

(保育士・幼稚園教諭 論作文・面接対策ブック 2020年度版—実務教育出版—)

④ 合格した学生の声 【公立受験をして……】

公務員保育士を目指し、現在、実現しての実感として(目指してよかった感想)

保障がしっかりしていたり、年次有給休暇がきちんと取れたりと金銭的にも環境的にも働きやすさは実感している。しかしこれは試験を受ける前からある程度は分かっていた。実際に働き強く感じたのは、働いている人が良いということ。上司や先輩、同僚、皆仕事への熱意があり、子どものために考えるだけでなく、職場としても良い雰囲気を作ろうと努力している。一見当たり前を感じるかもしれないが、仕事においてはなかなかできることではないだろう。第一希望の配属ではなくなり苦しんだこともあったが、やる気があり、専門性や経験もある方々の中で仕事ができ、自分が成長していることを日々実感、公立の保育士を目指して本当に良かった。

実現しての実感として一番は同期が多くいることです。保育士だけでなく、また同年代だけでなく様々な職種、年齢の方とつながることができます。それは仕事をする上でとても大きい存在だと感じています。普段の仕事の悩みや不安を言い合えるのはもちろん、時にはそれを忘れて思い切り楽しむことができる同期がいることは心の支えになると思います。わたしは教職センターと子ども臨床コースの先生方に多くの情報をいただきました。山田さん、中澤さん、山下先生、井上先生、奥田先生のところに通い、分からないこと、欲しい情報、対策の仕方など丁寧に時間をかけて教えていただきました。お忙しい中時間を作り親身になって相談に乗ってくださり、本当に感謝しています。

半年間働いてきて良かったと思うことは、やっぱり子ども達がかわいいことです。それだけで初めての社会人なので大変なこともあります、頑張っていこうと思えます。また公務員なので、福利厚生がしっかりしているのはとても良いと思いました。私は夏の一次募集では落ちましたが、11月頃から行われる二次募集で合格しました。一次募集でどこにも受からなかったからと諦めず頑張って良かったと思っています。

【受験対策】

教職センター	公務員試験を受けると決めてからどこを受ければ良いのか、どのような流れで試験を受けるのか、勉強の計画をどう立てれば良いのかなど分からないことが多々あった。それを解決してくれたのは主に教職センターだ。親身になり一から試験の流れや勉強の進め方などを丁寧に教えてくださった。
東京アカデミー	教養試験対策は東京アカデミーの講座とテキストを主に行った。例年の傾向や公務員試験のコツなどを公務員試験を突破するための情報を多くくださった。また面接練習も行ってくださった。
自主学习	東京アカデミーのテキストを中心に、それに飽きたら図書館の公立の保育士試験のテキストを使って勉強をした。ノートを一冊作り、自分の受ける自治体の情報を収集しては書き込んだ。それを面接練習前や本番の面接前など時間があるときに読み込んだ。これはとても良かったと思っている。
先生方	公立の試験を受けるか悩んだときに一番最初に相談をした。親身に相談に乗ってくださり、この時に先生に相談をしていなかったら今の自分はないと思っている。自分の頭で考えるだけではどうしても行き詰まってしまう時があると思うので先生方に相談をすると答えが返ってきたり、自分の中のもやもやが消えたりするので良い。試験に向けて頑張ることができたのは先生方の存在が大きい。先生方からは面接で、面接官がどのような点を見ているのか、こういった答えを自治体が望むのかなど公務員として長年働き、面接官もした者の正直な意見や情報をいただいた。内部で働いていた者にしか分からないような意見はとても貴重であった。

論文・面接対策	<p>論文は、東京アカデミーと教職センターで何度か添削をしていただき、それ以外は全て先生方が添削をしてくださった。テーマを用意していただきそれを書き、見てもらいもう一度書くという一連の流れを短期集中的に行った。</p> <p>面接は、主に先生方に行っていた。長年公務員として働き、面接官もした先生方の正直なアドバイスにはショックを受けることもあったが結果的には自信に繋がり、実際の面接は楽しく自分の思いを話すことができた。先生方との都合が合わないときには東京アカデミーで面接練習をしていただいた。色々な人からアドバイスをいただくことで分かることもあり良かった。</p>
その他	<p>明星の学生は公立試験を受ける人が少ないが、是非多くの学生に受けてもらいたい。また教職員から公立について話をする機会をとってほしい。私は正直あまり公立と私立の違いを知らなかった。何となく公立のほうが働きやすいとは聞いていたので目指してみたが、入区すると公立の良さ、公務員の良さを実感する。</p> <p>気軽に受けてほしいと感じると同時に、学生にはよく自分のしたいことや将来設計について考えてほしいとも思う。入って後悔はしてほしくはない。保育士は今、就職先に困ることはないだろう。だがそのような時だからこそ自身の判断基準で評価をして自分にとって良い場所を選択してほしい。</p>

#### 4 まとめ

公立保育者を目指す学生の採用試験対策への取り組みの支援、キャリア支援は、この3年間を通し、対応した教員、教職センター担当者にとっても一定成果を見ることができた。採用試験合格者の報告にもあるように合格者が年々増えている。このことは、一にも二にも教員間の連携、教職センターとの連携があったことの成果ではないかと思う。また、学生対応からは、公立保育者を目指すにあたりきっかけはどうかあれ、一旦、目指したいと志を持った時に、学生をどう支援するかであった。対応の中で、どの学生に対しても、学生自身の公立の保育者として保育園、幼稚園の職場を選ぶかということだけではなく、私立の保育園、幼稚園を選ぼうと、また一般企業を選ぼうと、どこを選ぼうと「どういう職場か」ではなく「どう働くか、働きたいか」であるとことを伝えてきた。学生が公立の保育者として公立で働きたいと考える最初の条件の1つ目は、給料の安定、そして2つ目は長く働ける条件があると答える。その通りであるが、どの職場にも必要な条件である。どう働くかに戻ると、長く働くということはやはり本気の覚悟が必要だと考える。キャリア支援として「どのような生き方をしたいか」を、指導の中で学生に伝えてきたが、届いてくれているとよいと願っている。

本稿をまとめるにあたり、教職センター事務室の山田和広氏には、公立保育士・幼稚園教諭の採用試験に関わる資料提供や対策講座に係る内容の助言を受けた。

今後も教職センターとの連携は必要なことであり、連携を取りながら、学生指導を進めたいと考えている。

#### 参考文献

- ・保育士・幼稚園教諭採用試験問題集2018実務教育出版
- ・保育士・幼稚園教諭採用試験問題集2019実務教育出版
- ・保育士・幼稚園教諭採用試験問題集2020実務教育出版